

なんごく南支所管内より

家族大好き!なかよしな2匹

飼い主: 楠瀬 利江さん

ペット: (写真左) モコくん(17)

(写真右) シマくん(推定年齢2~3歳)

友人から譲り受け、生後2、3ヵ月で楠瀬家にやってきたモコは、大人しく温厚な性格でちょっぴり臆病な性格。新しい環境に慣れるまでは鳴いて過ごすこともありましたが、ご家族からの愛情を受けてすくすく成長。歳を重ねたことで最近のはのびり過ごすことが多くなりましたが、隙を見て脱走するほど手のかかるわんぱくだったそう。食べるのが大好きで食欲旺盛! なんでもペロリと食べます。

迷い込んできたところを保護し、家族として迎え入れたシマ。好奇心旺盛で“これで遊んでー”と言わんばかりにお気に入りのおもちゃを持ってきてアピールします。モコへの過剰なスキンシップに嫌がられながらも、なんだかんだ仲良しの2匹。日々、ご家族に癒しを与えています♪

本山出張所管内より

規模拡大も視野に奮闘しています👊

林 勇希さん(28)

「園芸が盛んな高知なら初心者でも農業をしやすい環境が整っていると思ったんです」と話すのは本山町に移住し、農業の道を歩み始めた林勇希さん。かねてより農業に興味があり、SNSでつながった人をきっかけに就農への思いが強くなり2021年に移住しました。

昨年4月から本山町で本格的に農業を始め、ニンニクやサツマイモ、ジャガイモ、水稲を約6反で栽培しています。中でも通常のニンニクの8倍の大きさを誇るジャンボニンニクの栽培に力を入れており、今作は8000個を定植。育てた野菜が売れることにやりがいを見出しています。

規模拡大を視野に有機農産物のJAS認証取得を目標にしている勇希さん。「最適な栽培ができるように努めていきたい」と意気込みます。

なんごく南支所管内より

夢は箱根駅伝出場!!!

小川 蒼平さん(16)

父: 俊一さん 母: 律子さん

出場した大会で好成績を収めたことが自信になり、陸上競技の虜になった小川蒼平さん。「きつい時もあるけど、それが楽しい」と走ることの楽しさはもちろん、爽快感や走り終えた後の達成感がやりがいにつながっています。

農業に従事する父親の姿を見て育ったことから、中学校卒業後は高知県立高知農業高校に進学。勉学と両立して同校の男子陸上競技部に入部し、練習を積んでいます。所属する陸上部は、昨年12月の全国高等学校駅伝競走大会に県代表として出場。蒼平さんは6区を任されました。「チームの目標タイムには届かず悔しかったけど良い経験になった」と蒼平さん。周囲の応援を糧に夢の箱根駅伝出場に向けてレベルアップ! 更なる高みを目指します。

長土地区

からごんにちは 今月の気になる人

“楽しい”がいちばん!

高野 香代さん(68)

「農協まつりの餅つきや綱引き大会が楽しかった」と笑顔で話すのは、結婚を機に当時の若妻会に加入し、現在JA女性部久礼田支部の副部長を務めている高野香代さん。昨年より民生委員として園児への絵本の読み聞かせや児童の見守り活動などに参加し、安心して暮らせる地域づくりのためにも尽力しています。

女性部活動では、くれだカフェや親睦旅行を通じて地域住民や部員間の親睦を深めています。また、目的別グループ『ヤマボウシの会』では、気の合う仲間と年間の活動を計画。花の寄せ植えや花見などを企画し、メンバーと楽しんでいます。「支所統廃合後も久礼田支所を拠点にみんなで楽しく活動していきたい」と香代さん。仲間との絆で活動の充実を図ります。

なんごく北支所管内より



愛猫のはるくんと一緒に! あずぎ、だいず、計3匹のネコに癒されています。

田舎暮らしの良き相棒です!

飼主: 川端さんご一家

ペット: (写真左) はな(5)

(写真右) むぎ(2)

川端家に来て2年目の春を迎えるヤギのはなとむぎ。はなは香美市から、むぎは四万十市からやってきました。大人しく人懐っこい性格のはなとは対象的に、少し気性が荒くやんちゃなむぎ。出会った初日は激しいケンカをしてしまったそうですが、今ではとっても仲良しです♪

ヤギは体の不調を表情に出さないため、異変に気付けるように健康面には日頃から気を配っています。雑草の好き嫌いもあり栄養不足にならないよう、川端家では穀類や配合飼料なども与えています。刈り取った草を乾燥させたお手製の干し草が2匹のお気に入りです♡

「2匹は癒しであり田舎の良き相棒」と川端さん。のびのび過ごせる環境と徹底した健康管理に努め、それぞれに愛情を注いでいます。

本山出張所管内より



できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



無病息災を願って振舞われた七草がゆ (かさぐるま市で)

1 南国市地域

手作り七草がゆで 元気な1年に！

J A高知県土長地区の直販所「風の市」と「かさぐるま市」は7日、1年の無病息災を願って来店客に「七草がゆ」を無料で配布しました。春の七草には7種それぞれに消化に関する効能があるとされ、年末年始で疲れた胃腸を整える効用があります。

両直販所では、来店客の無病息災を願うとともに日頃の感謝の気持ちを伝えようと毎年行っています。今年は両店が約300食分を準備したほか、風の市では1月15日の小正月に1年の邪気を払う目的で食べられていたとされる「小豆がゆ」も配布しました。

米や七草など南国市産の食材を使用し、風の市は塩、かさぐるま市はかつおだしと塩で仕立てた優しい味付けで、両店ともに午前中にはなくなる大盛況でした。来店客は「体がポカポカになった」「今年も1年元気に過ごせそう」と、手作りの七草がゆで体を温めていました。店内では、管内で生産されたセリやナスなどの七草セットの販売も行われ、多くの買い物客が買い求めていました。



部員に教わりながら駒打ちをする園児

2 れいほく地域

原木シイタケ 駒打ち体験



3 土長地区

酒米品評会



酒米品評会の受賞者

高知県の土佐酒(清酒)の認知度向上や県産酒米の生産振興、販路・輸出拡大に取り組む土佐酒振興プラットフォームは1月26日、高知市で「第8回(令和5年度)高知県酒米品評会表彰式」を開きました。

審査会は昨年12月13日に南国市で開かれ、「吟の夢」は89点、「フクヒカリ」17点、「土佐麗」8点、「たちはるか」5点の出品がありました。審査の結果「フクヒカリ」部門で本山町の大久保誠二さんが最優秀賞に輝いたほか、嶺北管内から5人が受賞。参考出品である「土佐麗」部門では、南国市の西村秀雄さんに奨励賞が授与されました。

5 南国市地域

女性部対話集会



さまざまな意見が出た対話集会

J A高知県女性部南国市地区は1月10日、南国営農経済センターでJ A役員との対話集会を開きました。各支部役員12人とJ A役員や青壮年部役員、長岡地区の女性部役員ら計18人が出席し、女性部活動のあり方や展開などについて意見交換を行いました。

各支部からは、支所再編後の方向性や組織のあり方などについて意見があり、J Aの役員が一つ一つに回答。グループや支部活動を充実させ、女性組織の活性化につなげていくことなどを全体で共有し、新たな仕組みづくりや体制構築を行いながらより良い組織づくりに努めていくことを確認しました。

4 れいほく地域

れいほく女性部 ランチ会



大盛況だった「農協女性部冬のまつり」

J A高知県女性部れいほく地区は1月20日、土佐町のれいほく支所で「農協女性部冬のまつり」と題したランチ会を開きました。地域住民やJ A役員ら78人が訪れ、地域で親しまれている郷土料理や、旬の食材を使った料理に舌鼓を打ちながら交流を深めました。

今年は管内6支部の部員ら約40人が会場設営や調理、運営に参加。大豊町の伝統料理「こんちゃん」や土佐あかうしを使用した「あかうし汁」、れいほく八菜を使った「彩どりピーマンのマリネ」など、れいほく地域の食材を中心に部員らが調理した15品で来場客をもてなしました。

6 れいほく地域

救命処置資機材 消防本部に寄贈



受納式に臨む関係者

J A高知県土長地区とJ A共済連高知は1月23日、救急車に搭載する高度救命処置用資機材を嶺北広域行政事務組合消防本部に寄贈しました。本山町役場で開かれた受納式には、関係者ら22人が参加。J Aの金堂元彦常務と共済連高知の松岡隆民本部長が自録を贈りました。

資機材は自動式心臓蘇生装置や人工呼吸器などで、救急搬送中の救命活動に役立ててもらいます。式では、消防署職員による自動体外式除細動器(AED)を用いた実演も行われ、澤田町長は「迅速に医療機関に搬送するのに欠かせない機材をいただき深く感謝している」と謝辞を述べました。

えいのう〜



れいほく地域より

れいほく営農経済センター 営農販売課 0887-82-2803

害虫対策のポイントについて

れいほく管内は、夏秋作の定植時期を迎えました。ここでは、害虫対策のポイントをおさらいします。栽培初期から害虫対策をしっかり行い被害を抑えましょう。



Step1

・定植時には植穴、株元に殺虫剤を散布し栽培初期の発生を防ぎましょう。効果の持続期間が長く、省力的に害虫防除ができます。

Step2

・バンカープランツを定植し、天敵放飼の準備をしましょう。天敵を放飼する前に、バンカープランツを定植し、天敵の早期定着を促します。(タバコカスミカメ→クレオメ、バーベナ)

Step3

・天敵放飼前に、1度殺虫剤を散布し害虫の発生密度をできるかぎり下げてください。防除暦で天敵への影響期間を確認し、薬剤を選択しましょう。

Step4

・天敵を放飼しましょう。害虫被害が発生する前に天敵を定着させましょう。放飼後の防除は、天敵に影響の少ない薬剤を使用しましょう。

<農薬を散布しても害虫が減らない理由>

- **薬物抵抗性の発達**
同一系統の農薬の連用により、害虫の抵抗性が発達します。防除暦のRACコードを確認し、ローテーション散布を行いましょ。
- **農薬の散布ムラ・薬量不足**
害虫に直接触れなければ効果が無い農薬が多いです。葉の裏までしっかりと散布しましょう。
- **ほ場周辺部からの飛込み**
農薬散布により、ほ場内の害虫が死滅してもハウス外からの飛び込みが多ければ、害虫の密度は低下しません。防虫ネットの展張、ハウス周りの除草を行いましょ。



上記の点に注意しつつ、天敵を有効活用することで、労力の軽減や農薬の削減、また環境への負荷を軽減した農業生産を目指しましょ。

GAP 掲示板 vol.45 れいほく地域



「れいほく園芸部5部会高知県GAP第三者確認制度登録」

JA高知県れいほく園芸部が取り組む「高知県GAP第三者確認制度」の現地調査が、令和5年11月15日に行われ、翌月26日に団体登録が更新されました。昨年度に引き続き、シトウ・カラピーマン・米ナス・土佐甘とう・ミニトマトの5部会で、74戸が登録を受けました。

窪内勉園芸部長は、「令和6年度より国際水準GAPに取り組む。新たに追加される項目を実践し、より安全・安心な農業を実現したい。」と力強く話しました。

園芸用ハウスをリノベーションしてみませんか

南国市地域より

南国営農経済センター 営農指導課

088186312415

令和6年度高知県園芸用ハウス等リノベーション事業についてお知らせします。補助対象メニューは次の通りです。

【ハウス本体の補強及び被覆資材等の高度化に要する資材】

- ① ハウス本体の補強に要する資材（補強合掌、谷樋新設、換気扇等）
- ※令和元、2年度高知県農業用ハウス防災対策事業費補助金を活用した農業者が申請可能。活用していない場合は、令和6年度農業用ハウス防災対策事業で防災のためのハウス補強を支援していますので別途ご相談ください。
- ② 被覆資材等の高度化（止水シート、被覆資材）
- ③ 内樋の新設

【ハウス内設備又は露地ほ場の高度化に関する環境制御装置又は資材】

- (1) カーテン資材の導入
- (2) 自動開閉装置のリース導入
- (3) 環境制御装置のリース導入
- ① 環境測定装置
- ② 統合環境制御装置
- ③ 炭酸ガス発生機
- ④ 湿度管理装置
- ⑤ 日射比例による自動灌水装置

【補助率及び補助上限額】

- (1) ハウス本体の補強及び被覆資材等の高度化に要する資材
補助率：税抜本体価格の3分の1（千円未満切り捨て）
補助上限額：10aあたり33万3千円
- ※フッ素樹脂フィルム（屋根全面張替え）は10aあたり100万円、ただし1農業者あたり500万円まで

【申請要件】

- ① 申請ほ場で環境測定装置を既導入又は新たに導入すること。
- ② IOPクラウド「SAWACHI」の利用登録をしている又は申請中であること。

【その他留意事項】

- ・資材や装置の更新は不可、新規導入のみ補助対象。ただし、被覆資材等の高度化について、現在導入している資材より明らかに高度化された資材を導入する場合は補助対象とする。また、自動開閉装置のリース導入について、自動開閉装置の新規導入時に資材の高度化が必要と認められる場合は資材の交換を含めて補助対象とする。
- ・施工費は補助対象外（市町村補助の対象になる場合あり）



③ 申請ほ場の環境データをSAWACHIに接続すること。

- ④ 事業を申請するハウス本体が園芸施設共済又は民間事業者が提供する保険に加入していること若しくは確実に加えること。
- ⑤ 今後10年の営農の意思があること又は後継者などにハウスを継承する意思があること。

・環境制御装置等をリース導入する場合の事業申請手順

- ① 導入機器の選定
 - ② 見積書（2社以上）作成依頼
 - ③ リース会社に審査申込
 - ④ SAWACHI利用登録
 - ⑤ 申請ほ場の環境測定装置の写真及び設置予定場所、高度化前の写真の取得
 - ⑥ 県税の納税証明書（全科目）の取得又は県税完納情報提供に係る同意書記載及び本人確認書類の添付
 - ⑦ 園芸施設共済証書（写）の取得
- ・資材を導入する場合の事業申請手順は、機器のリース導入手順のうち、③以外同じ。
 - ・予算を超える申請があった場合は、優先順位付けを行い、上位の申請者から採択。

【提出べ切】

令和6年4月12日（金）

【お問い合わせ・申込先】

◆ 南国営農経済センター 営農指導課
TEL：088186312415
◆ れいほく営農経済センター 営農販売課
TEL：088718212803



南国営農経済センター 営農指導課 山本 誠

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

ポンカンを収穫した後1ヵ月くらい貯蔵しているなんて初めて知りました。おいしいポンカンが食べたいな。佐川町の山椒餅もおいそつで気になりました。

(れいほく支所・34歳)

▼適正な温度や湿度で管理し、貯蔵することで糖度アップ！光センサーの導入で品質の安定を実現させた『土佐よさこいポンカン』。ぜひ、ご賞味ください♪山椒餅もどんな味なのか食べてみたいです！

石川県が能登半島地震で大変なことになっています。高知も南海トラフ地震に備える必要性を痛感させられました。他人事ではありません。

(なんごく南支所・60歳)

▼年明けムードから一転、テレビは地震関連のニュースに変わり見ているだけで胸が痛くなりました。被害に遭われた皆さまに心よりお見舞い申しあげるとともに、一日でも早い復興をお祈りしています。

『うちんくの台所』の和風パスタを作りたいです。

(十市出張所・31歳)

▼かつおだしの効いた和風パスタ、ぜひ作ってみてください！香り高い大葉を散らすことで彩りもアップ!!簡単に作れる一品です。パスタ好きにはたまりませ♥

ポンカンが大好きです。県外の友人にも毎年送っています。特集のポンカンの写真がいいですね！ポンカンに『こうぐり』を入れて送ります。

(なんごく北支所・61歳)

▼高知を代表する柑橘の魅力が多くの方に伝わってほしいと思います。贈答用の黒箱は高級感があり、素敵です。産地維持に向けた取り組みを紹介している冊子を同封することで、より身近に感じてもらえると嬉し

思い起こせば昔、おきやくの時に蒸し鯛をよく作ったものです。最近ではおきやくも減り、見かけることも少なくなったので懐かし

(岡豊出張所・75歳)

▼鯛を丸ごと一匹使った土佐の郷土料理『蒸し鯛』。大皿に鯛が一匹乗り、見事な迫力！近年では、食べる機会が減っていますが、後世に伝え継承していきたい一品ですね。

農業は高知の大事な産業であり、若人に頑張ってもらい、未来を切り開いてほしい。頑張り！頑張り！頑張り！

(なんごく北支所・72歳)

▼これからの地域農業を支えていく若い方々の存在は頼もしい限りです。若いチカラやアイデアを活かしながら持続可能な地域農業の確立、発展につながることを期待しています。皆さんで応援していきましょう！

毎号楽しみに拝読しています。いろいろ知るところもありますし、料理は参考になっています。

(おとよ支所・53歳)

▼いつもありがとうございます。特集では、2月号に引き続き『四国のホットな直販所』と題し、四国4県の直販所を紹介。各直販所の特色や魅力をお届けしています。加工品やスイーツなど目を引くものばかり☆
今年も正月早々から地震や事故、火災など前代未聞の幕開け。コロナ、インフルも猛威を振るっている。「福来たれ」。

(十市出張所・68歳)

▼先日、南国女性部の防災学習を取材させていた中で、講師の方が「災害時に何が起きるかを想定して対策をしておくことが防災・減災につながる」と話していました。備えは大事ですね！年明けからつらいニュースが相次ぎましたが、皆さまにとって天高く昇る『竜』のように上り調子の1年になりますように・・・。

川柳紹介

こうぐりの パズルかかえて
ねむりけり

(本山出張所・89歳)

マンガ見て 笑う人見て 笑う人

(岡豊出張所・74歳)

ナマズ君 暴れだし我が 対策ワ

(本山出張所・76歳)

れいほく

『JAグリーンもとやま』 定休日変更のお知らせ

『JAグリーンもとやま』では、11月から3月までの日曜・祝日を定休日とさせていただいておりましたが、この度日曜・祝日を通年で定休日とさせていただきます。

組合員・利用者の皆さまには、ご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。なお、土曜日についてはこれまで通り営業いたします。引き続きご利用いただきますようお願いいたします。